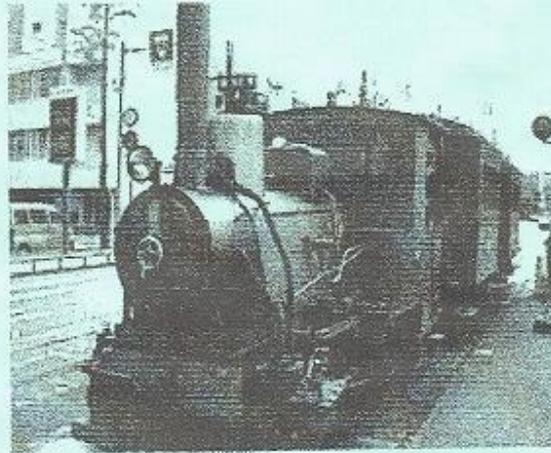


椿の会会報特別号

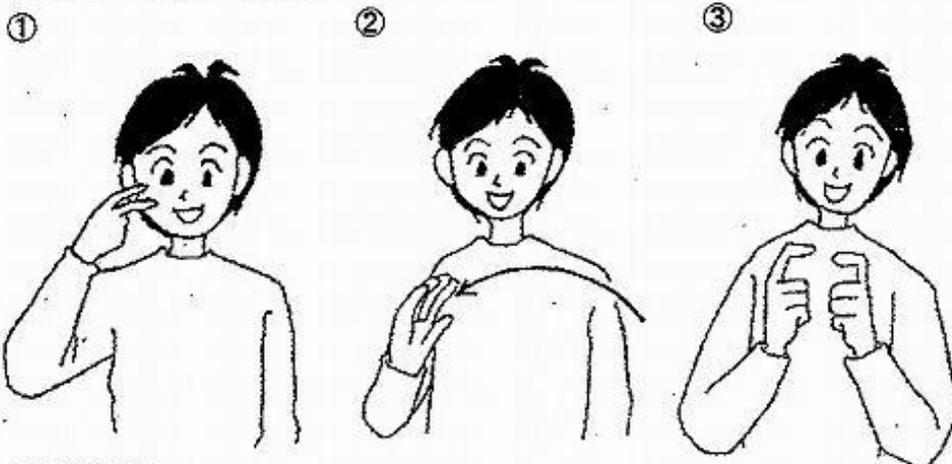
# 伊予の手話



松山手話サークル 椿の会



## 【松山城】



(手話解説)

①松 ②山 ③城

### {松山城}

標高 132m の小高い山にそびえる松山城は、姫路城、和歌山城とならぶ日本3大連立式平山城のひとつ。

名将加藤嘉明が 1601 年に着工。この時に、この小山に松の木が見られたことにより『松山』と命名された。その後、家康の甥、松平定行が入封、松平 15 万石の城下町が誕生した。現在の天守閣は幕末に再建されたもの。市内のどこからでも見える松山のシンボル。

天守閣(TEL 921-2540) 入城料 500 円(障害者手帳 無料)

9:00~17:00(入城 16:30) 8月中~17:30(入城 17:00)

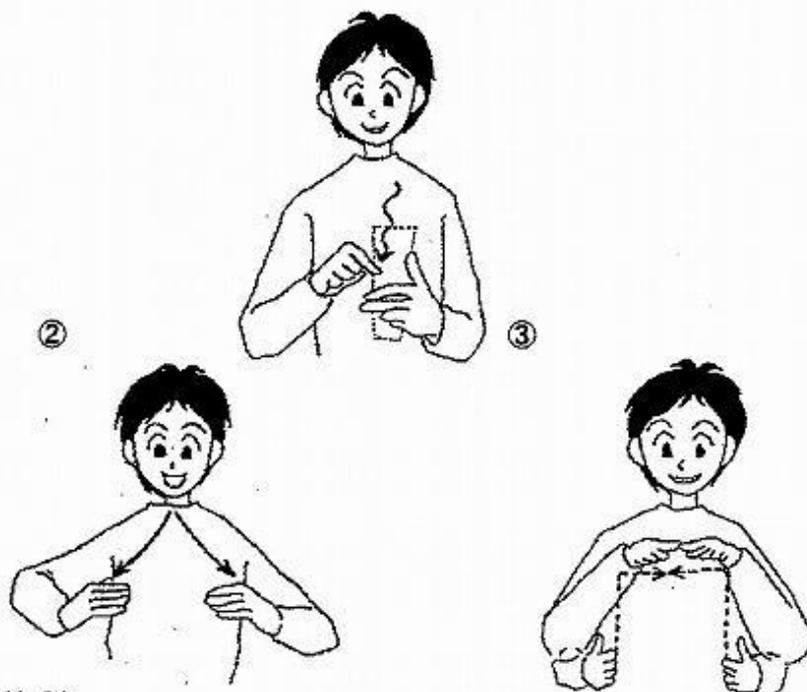


## 【子規堂】

①

## 【子規博】

(松山市立子規記念博物館)



(手話解説)

①子規…短冊に俳句をつづっている様子。

②堂…お堂の屋根の形。      ③会館

[正岡子規]

慶応3年、松山生まれ。俳諧のみならず、近代文学に多大な影響を与えた。ベースボールを「野球」と訳し、松山に野球を伝えた人物。

[子規堂]

子規の子供時代の住居を正宗寺の境内に復元し、勉強机や遺品なども展示している。境内には「坊ちゃん列車」も展示している。

松山市末広町 伊予鉄道松山市駅から徒歩5分 入場 50円

[子規博]

人間正岡子規をテーマにした文学系博物館。建物は明治の蔵をイメージしたアイボリーホワイトの4階建。(TEL 931-5566)

松山市道後公園 常設展入場 400円(障害者手帳 無料) 月曜 休館

## 【かすり会館】

①



②



(手話解説)

①かすり(拵)…織機をイメージ。両手の指を重ね合わせる。

②会館

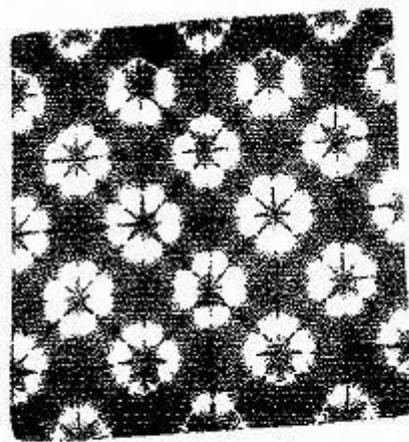
[伊予かすり]

190年の歴史をもつ伊予の伝統工芸。久留米拵、備後拵とともに、日本3大拵のひとつ。素朴な風合いが魅力で、全国で賞用されている。

伊予かすり会館では、製造過程を見学ができる。洋服、ハンカチなどを販売する他、藍染体験(ハンカチ 1000円・巾着 2000円)もできる。

松山市久万ノ台 1165 8:10~16:50 入場料:50円 障害者 無料

TEL 922-0405 FAX 922-0050



## 【内子町】

①



②



③



(手話解説)

①内＝うち…「家」の意味で解釈する。

②子 「女の子」の意味で解釈する。

③町

〔内子町〕

鎌倉以降、門前町、宿場町、和紙や生糸、蠟燭の生産地など、時代とともに変貌をとげ、現在の歴史的町並みを形成。国の重要伝統的建造物保存地区の選定を受けている。松山から40km離れている。

別の地区であるが、ノーベル賞作家、大江健三郎の出身地としても有名になっている。



## 【四国八十八カ所】

①



②



③



④



(手話解説)

①四国

②③ 八十八

④めぐり…左手甲を四国にみため、右手で円を描く。

【四国八十八カ所】

弘法大師空海ゆかりの霊場をいい、室町時代に現代の八十八カ所が成立したといわれる。八十八は、人間の煩惱の数を示している。個人差があるが、全行程を歩くと約50日かかる。愛媛県には26カ寺ある。

## 【ロープウェイ】



(手話解説)

前方斜め上にむけた左手人差し指(ロープ)の上に、折り曲げた右手人差し指、中指を乗せて、右手だけ斜め上に上げる(ゴンドラ)。

{ロープウェイ&リフト}

最高132mの城山に登るロープウェイとリフト。好きな方どうぞ、とロープウェイとリフトが並んで設置されている全国でも珍しい例。

往復 500 円(障害者手帳:無料)

## 【リフト】



(手話解説)

左手でリフトのポールを持ち、右手は、椅子に座った足を示しつつ両手を斜め上にあげる。

## 【人力車】

(手話解説)

左手で前の取っ手を握り、右手で横の取っ手を握る。

{人力車}

道後温泉本館を起点に10分(1人1500円)、20分(3000円)、1時間(6000円 要予約)の3コースがある。希望があれば、24時間いつでも走ってくれる。

エトワール TEL 932-3387

カ舎本店 TEL 977-2588



## 【夏目漱石】

①



②



(手話解説)

①夏

②目

〔夏目漱石〕

いわずと知れた文豪。正岡子規とは第一高等学校以来の親友。英語教師として松山に来たのは明治28年、28才の時。滞在期間はわずか1年で松山を去っている。

## 【弘法大師】

(手話解説)

お坊さん。坊主頭の手話

〔弘法大師空海〕

平安初期の僧。真言宗開祖。現在の香川県多度津町生まれ。四国遍路八十八カ所は言うまでもなく、大師信仰に基づいている。香川県の満濃池は、空海が作った日本最大の池(灌漑用)である。



## 【坊ちゃん】

(手話解説)

「はかま」をはいている坊ちゃんをイメージして、「はかま」の手話。両手を腰にあてる。

[坊ちゃん]

小説『坊ちゃん』の主人公。数学教師。名は与えられてない。しゃきしゃきの江戸っ子である。

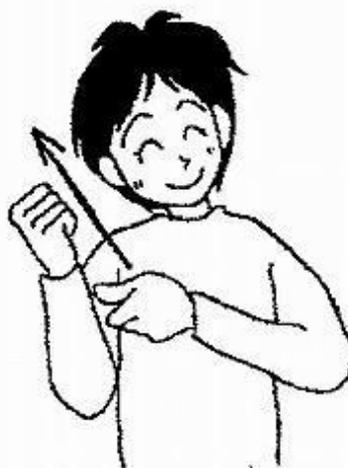


## 【マドンナ】

①



②



(手話解説)

「傘」をさしているマドンナをイメージして、「傘」の手話(傘をさすしぐさ)。マドンナらしく上品に。

[マドンナ]

小説『坊ちゃん』のヒロイン。大切な存在であるが、作中では一言も言葉を発していない。遠山家の令嬢。

## 【タルト】

(手話解説)

左手で丸いカステラを持ち、右手で内部のあんの「の」の字を書く。

{タルト}

初代松山藩松平定行が考案した南蛮系の和菓子。



## 【坊ちゃん団子】

①



②



(手話解説)

①「坊ちゃん」の手話

②左手人差し指(串を指す)に、右手で輪を3つ作る(団子を示す)。

{坊ちゃん団子}

「坊ちゃん」が好んで食べたことから、菓子名にされた。もちろん漱石もよく食したという。当時は「あんころ団子」と言われていた。

